

地震・火山噴火予知研究協議会 計画推進部会 史料・考古部会 準備会合

日時：平成27年2月17日(火)13:00～17:00(予定)

場所：東京大学史料編纂所 大会議室(福武ホール地下1階)

■ 議事

◆ 挨拶・全体説明(部会長)

◆ 各研究課題における今年度の進捗状況や成果の概要(各研究課題の連絡担当者)

- ・5ヶ年の研究計画全体における進捗状況.
- ・今年度の研究成果(話題的なもの).
- ・来年度の研究方針の概要.

● 計画研究課題, 報告時間: 10～15分程度

- 1501, 地震・火山災害の関連史資料に基づく低頻度大規模災害の調査
佐竹健治(東京大学地震研究所)
- 1701, 古文書解読による南海トラフ巨大歴史地震像の解明
山中佳子(名古屋大学)
- 1901, 史料の収集・翻刻・解析による過去の大地震および自然災害の調査
加納靖之(京都大学防災研究所)
- 2601, 文献史料による歴史地震に関する情報の収集とデータベースの構築・公開
佐藤孝之(東京大学史料編纂所)
- 2701, 日本海沿岸地域を中心とした地震・火山噴火災害関連史料の収集と分析
矢田俊文(新潟大学)
- 9001, 考古資料および文献資料から見た過去の地震・火山災害に関する
情報の収集とデータベースの構築・公開
小池伸彦((独)奈良文化財研究所)

●公募研究課題，報告時間：10分程度

- 史料にもとづく北海道渡島大島火山寛保噴火による山体崩壊とマグマ活動に関する研究
津久井雅志（千葉大学）
- 東北地方太平洋沿岸地域における歴史災害資料の収集と分析
蝦名裕一（東北大学災害科学国際研究所）
- 東アジア地震史料の研究—そのデータベース化と災異思想の研究—
小嶋茂稔（東京学芸大学）

◆研究成果の取りまとめと成果報告シンポジウムでの発表について（全員で協議）

- ポスター発表については各研究課題ごとに実施。
 - ・関連する研究課題についてはポスターの統合が可能。
- 口頭発表については企画部戦略室からの指示に基づいて報告する。
 - ・部会やグループの5年間の達成目標（5分）
 - ・その目標に位置づけた今年度の部会やグループの成果（20分），（9課題×2分程度）
 - ・成果を踏まえた今後の方針や予定（5分）
 - ・他部会等との連携について，方針，実績，今後の予定（5分）

以上